



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

会社名 新京成電鉄株式会社  
代表者名 代表取締役社長 笠井 孝悦  
(コード番号 9014 東証第 1 部)  
問合せ先 経営企画室経営計画担当課長  
内藤 智喜  
(TEL 047-389-9918)

### 中期経営計画（2016 年度～2018 年度）の策定について

当社グループでは、2016 年度（平成 28 年度）～2018 年度（平成 30 年度）の 3 ヶ年を計画期間とする中期経営計画（S3 計画）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 《策定にあたって》

当社グループでは 2010 年度～2021 年度の長期経営計画、そしてその第 2 ステップとなる 2013 年度～2015 年度の中期経営計画（S2 計画）を推進し、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

S2 計画期間中においては、雇用環境の改善および沿線人口微増による輸送人員増があったこと、また、より一層の経費削減に取り組みました結果、営業利益は目標として掲げた水準を達成することが出来ました。

長期経営計画の第 3 ステップとなる 2016 年度からの中期経営計画（S3 計画）は、「沿線価値向上・事業運営体制確立」の期間と位置づけており、「安全管理体制の再構築」・「鉄道輸送需要の創出および不動産の新たな収益源確保」・「業務効率化施策の実施」の 3 つを基本方針とし、鉄道部門では安全・安心の強化につながる施策を重点的に推進し、不動産部門では収益基盤強化に質する新規物件の開発を推進してまいりますほか、沿線地域と企業のブランド力向上につながる施策を実施してまいります。

## 中期経営計画（S3計画）の概要

### 1. 計画期間

2016年度から2018年度の3ヶ年

### 2. 基本方針

- ◆ 安全管理体制の再構築
- ◆ 鉄道輸送需要の創出および不動産の新たな収益源確保
- ◆ 業務効率化施策の実施

### 3. 基本戦略

#### ①安全・安心の強化

近年、輸送の安全に対する社会的要請がより一層強まっていることから、安全性・信頼性の更なる向上に向けた施策を推進し、安全輸送の完遂を目指す。

#### ②収益源確保への取り組み

将来予測されている生産年齢人口減に対し、沿線人口増加のための積極的な旅客誘致施策を実施し新たな輸送需要の創出を図るとともに、不動産事業においても新たな収益源となる物件を開発することで、経営基盤の強化を図る。

#### ③成長できる業務体質への転換

安全・安心の強化のための設備投資増加による費用増に対し、経費削減につながる効率化施策を実施していく。

#### ④地域と会社のブランド力向上

沿線エリアの情報や魅力を様々な媒体で発信することにより当社の知名度アップを図るとともに、サービスの向上もあわせて実施していくことでブランドイメージを向上させ、住んでいたい・住んでみたい魅力的な沿線づくりを行う。

### 4. セグメント別重点施策

#### <運輸業>

- ・ 運輸安全マネジメント制度に沿った諸施策の推進
- ・ 連続立体交差化事業（鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間）の早期完成
- ・ 信号保安設備の保安度向上（ATS装置の更新）
- ・ 自然災害への対応（駅耐震補強の推進）

- ・バリアフリー化設備等整備事業の更なる推進
- ・永続的な利益確保に向けた増収施策および効率化施策の実施
- ・お客様のニーズに応えるためのサービスの提供
- ・バス事業における既存路線の見直しや新規路線展開による収益力の強化

<不動産業>

- ・新規賃貸物件の開発による収益源の確保
- ・新津田沼地区開発計画の策定
- ・保有資産の有効活用の検討（連立高架下等）
- ・自社保有資産売却（八千代市吉橋土地）

<その他の事業>

- ・コンビニ事業における収益性の強化と店舗の拡充

## 5. 数値計画

### 2018年度の到達目標（連結）

項目\年度	2015年度 (実績)	2018年度 (S3計画)
営業収益	204億円	209億円以上
営業利益 (営業利益率)	30億円 (14.8%)	33億円以上 (16.0%以上)
親会社株主に帰属 する当期純利益	21億円	25億円以上

## 6. 参考資料

別冊「中期経営計画 S3 計画（2016～2018年度）《沿線価値向上・事業運営体制確立》」

以上

# 中期経営計画

S3計画（2016～2018年度）

《沿線価値向上・事業運営体制確立》



新京成電鉄株式会社

(9014)

1. 中期経営計画「S2計画」の総括	1
2. 中期経営計画「S3計画」概要	3
3. 中期経営計画「S3計画」基本戦略と主な施策	5
4. 中期経営計画「S3計画」数値計画	9

# 1. 中期経営計画「S2計画」の総括

# S2計画の総括

## ◆S2計画達成状況

### 運 輸 業

- 連続立体交差化事業に伴う仮線切替
- 車両全編成6両編成化完了
- 新型ATS（C-ATS）導入開始
- バリアフリー化1ルート目完了
- 駅舎耐震補強設計・工事の推進
- N800形新造車両1編成導入
- 深夜急行バス運行開始
- バス会社の再編

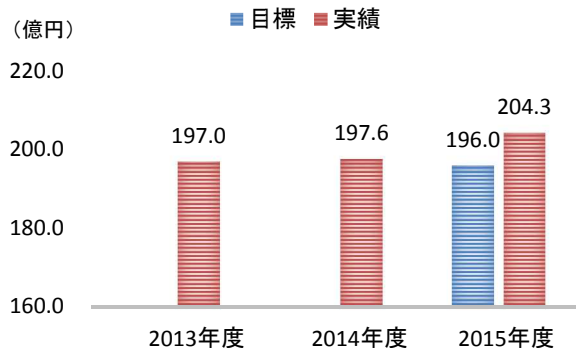
### 不動産業・その他

- 駅売店のコンビニ転換開始
- ブランドイメージ戦略（シンボルマーク、コーポレートカラー）の展開
- 事業継続計画（BCP）制定
- 薬園台住宅型有料老人ホーム賃貸開始

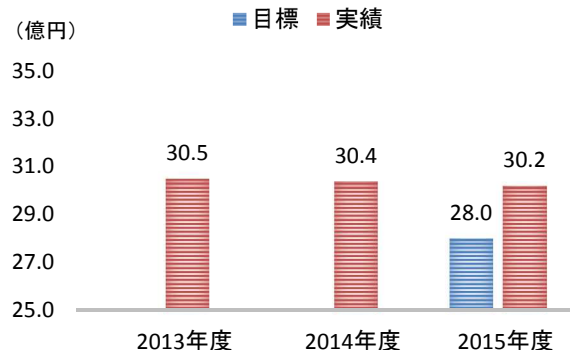
## ◆数値実績の推移

沿線人口微増や経費削減等により目標を達成

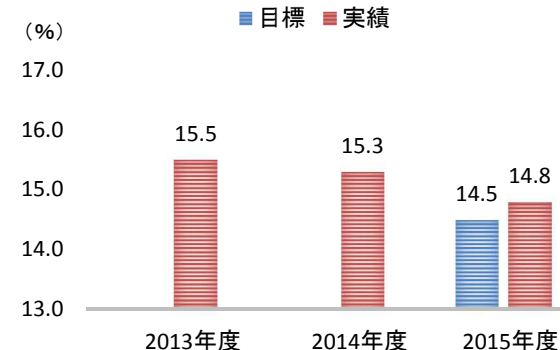
### 営業収益



### 営業利益



### 営業利益率



## 2. 中期経営計画「S3計画」概要



# S3計画の基本方針・基本戦略

将来予測されている沿線人口の減少および少子高齢化の進展、また、安全のための設備投資増加による費用増に耐え得る事業運営体制の構築を、このS3計画期間で目指していく。

## S3計画 テーマ

沿線価値向上・事業運営体制確立

## S3計画 基本方針

1. 安全管理体制の再構築
2. 鉄道輸送需要の創出および不動産の新たな収益源確保
3. 業務効率化施策の実施

## S3計画 基本戦略

- ① 安全・安心の強化
- ② 収益源確保への取り組み
- ③ 成長できる業務体質への転換
- ④ 地域と会社のブランド力向上

### 3. 中期経営計画「S3計画」基本戦略と主な施策

# 基本戦略① 安全・安心の強化

近年、輸送の安全に対する社会的要請がより一層強まっていることから、安全性・信頼性の更なる向上に向けた施策を推進し、安全輸送の完遂を目指す。

## 安全管理体制の再構築

- 運輸安全マネジメント制度に沿った諸施策の推進

## 鉄道施設や設備の保安度・信頼性向上

- 新型ATS（C-ATS）化の推進
- 電力管理システムの更新
- 駅舎耐震補強の推進
- 土留擁壁の改良



駅舎耐震補強



土留擁壁改良

## 連続立体交差化事業

- 鎌ヶ谷市内連続立体交差化工事（鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間）下り線高架切替



新鎌ヶ谷駅～北初富駅間  
(H28.3月現在)

## バリアフリー化設備等整備事業

- 八柱駅北口エレベーター新設（バリアフリー2ルート目）
- 駅プラットホーム嵩上げの推進および内方線付点状ブロック新設の推進

## 基本戦略② 収益源確保への取り組み

将来予測されている生産年齢人口減に対し、沿線人口増加のための積極的な旅客誘致施策を実施し、新たな輸送需要の創出を図るとともに、不動産業においても新たな収益源となる物件を開発することで、経営基盤の強化を図る。

### 沿線活性化と人口増に向けた取り組み

- 沿線外からの転居を目的としたネット広告の展開
- 旅客誘致のための各種イベントの開催
- 沿線地域への社会貢献事業の推進



インターネット広告の実施

### 新規収益物件の開発

- 新津田沼地区開発計画の策定
- 自社保有土地への新規賃貸物件開発による新たな収益源の確保
- 収益賃貸物件の取得

### バス事業における取り組み

- 既存路線の見直しや新規路線展開による収益力の強化

### 自社保有資産の売却

- 八千代市吉橋分譲土地売却



H28～分譲開始

### その他事業における取り組み

- コンビニ事業における収益性の強化と店舗の拡充



H28.3月末現在  
7駅8店舗を展開

## 基本戦略③ 成長できる業務体質への転換

安全・安心の強化のための設備投資増加による費用増に対し、経費削減につながる効率化施策を実施していく。

### 持続的な利益確保に向けた効率化施策の実施

- 電車「フルSiC適用VVVFインバータ装置」への更新による大幅な省エネルギー化
- 照明のLED化による使用電力量の削減
- 新造車両導入による省エネルギー化の推進
- ロングレール化の推進

N800形車両



## 基本戦略④ 地域と会社のブランド力向上

沿線エリアの情報や魅力を様々な媒体で発信することにより、当社の知名度アップを図るとともに、サービスの向上もあわせて実施していくことでブランドイメージを向上させ、住んでいたい・住んでみたい魅力的な沿線づくりを行う。

### お客様のニーズに応えたサービスの提供

- 駅案内看板の更新（多言語対応）
- 駅トイレリニューアル化の推進
- 電車内装の更新
- 車内表示器の更新（LCD化）
- ロングレール化による乗り心地の改善  
および走行音の低減

### ブランドイメージ戦略の推進

- 車両塗装のニューカラー化の推進
- 三咲駅一部リニューアル

### 企業価値の向上

- コーポレートガバナンスの強化
- 広報活動の充実による沿線地域の魅力の発信

### 沿線生活サービスの向上

- 高齢者、保育施設の展開

上本郷駅保育施設  
(H28.4開業)



## 4. 中期経営計画「S3計画」数値計画

# S3計画数値目標

## ◆数値目標

	2015年度 実績	2018年度 計画
営業収益	204.3億円	209億円以上
営業利益	30.2億円	33億円以上
営業利益率	14.8%	16.0%以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	21.3億円	25億円以上

## ◆セグメント別数値目標

	2015年度 実績	2018年度 計画
営業利益		
運輸業	14.4億円	16億円以上
不動産業	14.8億円	16億円以上

## ◆投資計画

計画数値 (S3計画3ヶ年)		
合計	111.8億円	うち安全にかかわる 投資の割合：80.5%

## <注意事項>

本資料に記載されている情報のうち、過去の歴史的事実以外のものは将来の見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいたものとなっております。実際には様々な要因により異なる業績結果となる場合があることをご了承ください。